

2016年10月28日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)
(2016年12月検針分)

旭川ガス株式会社

当社では、本日確定した2016年7月から9月の平均原料価格に基づき、2016年12月検針分のガス料金(単
位料金)を、2016年11月検針分と比べ1m³あたり1.18円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたの
で、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11m³ご使用)への影響は、2016年11月検針分と比較して、13円の引き
上げとなります。

○一般契約料金

(消費税込)

| | 使用量区分 | 基本料金 (円/月) | 単位料金(円/m ³) | | 影響額 (円/m ³) |
|------|--|---------------|-------------------------|--------|----------------------------|
| | | | 12月 | 11月 | |
| 料金表A | 0m ³ から 23m ³ まで | 900.72 | 209.99 | 208.81 | 1.18 |
| 料金表B | 23m ³ を超え134m ³ まで | 1,285.20 | 193.66 | 192.48 | 1.18 |
| 料金表C | 134m ³ を超える場合 | 3,164.40 | 179.64 | 178.46 | 1.18 |

(注)各月のご使用量に応じて、A~Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヶ月のご使用量 | 12月のガス料金 | 11月のガス料金 | 影響額 |
|------------------|----------|----------|-------|
| 11m ³ | 3,210 円 | 3,197 円 | +13 円 |

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

$$\boxed{\text{ガス料金}} = \boxed{\text{基本料金 (税込)}} + \boxed{\text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))}} \times \boxed{\text{使用量}}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9503 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0546 \\ &= \underline{35,540} \text{ (円/t)} \times 0.9503 + \underline{35,580} \text{ (円/t)} \times 0.0546 \\ &= \underline{35,720} \text{ (円/t)} \text{ (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

| | 2016年7月～2016年9月 (12月検針分) | 2016年6月～2016年8月 (11月検針分) | 基準平均原料価格 |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|----------|
| 平均原料価格 | 35,720 | 34,440 | 58,680 |
| LNG平均価格 | 35,540 | 34,120 | |
| プロパン平均価格 | 35,580 | 36,970 | |

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{35,720} \text{ (円/t)} - \underline{58,680} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{-22,900} \text{ (円/t)} \text{ (100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.084 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{-22,900} \text{ (円/t)} \div 100 \text{ (円/t)} \times 1.08 \\ &= \underline{-20.78} \text{ (円/m}^3\text{)} \text{ 小数点第3位以下の端数切上げ} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m³あたり0.084円調整します

(円/m³)

| | 基準単位料金 | 単位料金調整額 | 12月単位料金 |
|------|--------|---------|---------|
| 料金表A | 230.77 | -20.78 | 209.99 |
| 料金表B | 214.44 | | 193.66 |
| 料金表C | 200.42 | | 179.64 |

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(58,680円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が93,880円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は93,880円としてガス料金の調整を行います。